

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」 相模大野校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・パーティションを使用し、個々の活動空間を確保している。 ・利用者一人ひとりのニーズに応じた教室内の環境整備に努めている。 	
	②	職員の配置数は適切である	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤職員3名、非常勤1名を配置している。 	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に不必要なものを遮断し、活動に集中できるように環境整備をしている。 ・視覚掲示物を有効活用し、活動の決まり事をイラストや記号、文字などで表し、一目で見て理解できるように工夫している。 ・教室内に段差はなく、バリアフリーになっている。 	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員で毎日清掃を行い、清潔で心地よく過ごせる環境を提供している。 	
業務 改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろから職員間の情報共有を密に行い、定期的な会議のみならず、随時行事の計画、事前準備、事後反省を行い、今後の業務改善に努めている。 	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者等に対して、毎年事業所評価を実施している。 ・保護者等からのご意見については、職員間で毎度情報共有を行い、今後の事業所運営に活かすための方法について話し合い、日々業務改善に努めている。 	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等を通じて、情報開示を行うとともに、教室内にアンケート結果を掲示し、保護者や利用者がいつでも見ることができるよう工夫している。 	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内で業務改善のため、取り組みを行っているが、前年度同様に、今年度も新型コロナウイルス感染予防のため、例年通りの外部評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所改善につなげるため、今後行えるように努めていく。

				を行うことが難しい状況となっている。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	・発達研究所主催の研修、地区の指導員会義、事業所内研修、外部研修などを活用し、「支援の指導法」や「教材作成の工夫」等について学習したり、日々の情報交換を行うことで、支援の質を高めていけるように努めている。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	・毎回の支援後のフィードバックや電話やメール等で日頃より保護者と連絡を密に取り合い、個々のニーズを把握できるように努めている。 ・また、家庭の様子、園や学校の様子の情報共有、今後の事業所での取り組み等を検討するために、定期的に保護者面談を行っている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	・法人で定められたアセスメントシートを使用している。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0	・児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインで示す支援内容から、支援に必要な項目を適切に選択し、具体的な支援内容を設定するように努めている。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	・児童発達支援計画に沿った支援を組み立てることができるように努めている。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	・職員間で、日々情報交換を密に行い、共通理解を深めていくことで、支援プログラムの立案をチームで行っている。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	・支援プログラムが固定化しないように、職員間で情報交換を密に行い、日々教材研究に努めている。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4	0	・児童の状況や保護者のニーズに合わせてながら、個別、小集団療育を組み合わせている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	・前回の利用者の様子や取り組み内容を踏まえて支援を行うことができるように、職員間での打ち合わせを実施している。

関係機関や保護者との連携	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	・支援終了後には、職員間での打ち合わせを必ず行い、情報共有をして、次回以降の支援に活かすことができるように努めている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	・日々の支援の記録を確実にし、職員間で情報共有ができるようにし、次回以降の支援について、支援内容や指導法の検証、改善につなげていけるように努めている。
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	・現状での達成度や今後の課題について、しっかり話し合い、全職員参加体制でモニタリングを定期的に行っている。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	・管理者・児童発達支援管理責任者を中心に参加するようにしている。 ・また、指導員も支援に支障がない限り、参加するように努めている。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0	・新型コロナウイルス感染予防のため、電話等で関係機関と情報共有をし、連携体制を整えている。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	0	・協力医との連携を行い、情報交換を密に行っている。 ・また、利用者のかかりつけ医からの情報共有を保護者に行えるように努めている。 ・現在、重症心身障害児の利用はない。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	0	・協力医との連携を行い、情報交換を密に行っている。 ・また、利用者のかかりつけ医からの情報共有を保護者に行えるように努めている。 ・現在、重症心身障害児の利用はない。
㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	・保護者とのフィードバック時や保護者面談時に、園等での様子を伺い、保護者からの要望に応じて、保育所、認定こども園、幼稚園等との情報交換や連携を行っている。	
㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	・保護者とのフィードバック時や保護者面談時に、学校等での様子を伺い、保護者からの要望に応じて、学校等との情報交換や連携を行っている。	
㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支	4	0	・他の専門機関と連携を取れるように日々努めている。	

	援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			・利用者が通っている他事業所や相談支援事業所等と連携を取り、情報交換ができるように努めている。		
⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	0	・利用者が通っている保育所等と連携が取れるように努めている。 ・保護者からの要望に応じて、利用者の通っている保育園や幼稚園等に訪問し、情報交換を行っている。		
㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	0	・相模原市南区の連絡協議会に加盟し、管理者・児童発達支援管理責任者を中心に、会議等に参加するようにしている。		
㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	・支援終了後には、職員間での打ち合わせを必ず行い、情報共有をして、次回以降の支援に活かすことができるように努めている。		
㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	0	・支援後のフィードバック時や保護者面談時などに、園や家庭等での様子について、情報共有を行い、児童の特性に合わせた声かけや視覚掲示物の有効的な活用方法について、保護者とともに検討していけるように努めている。 ・また、月に1回、保護者向けの講演会を実施し、家族支援についての情報提供をしている。		
保護者への説明責任等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	・契約時に保護者に説明を行い、理解を得ている。 ・また、保護者が常時閲覧できるように、教室内に掲示している。	
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0	・6か月ごとにモニタリングや個別支援計画を作成している。 ・支援後のフィードバック時や保護者面談時での情報共有をもとに、書類を作成し、保護者にしっかりと説明した上で、同意を得ている。	
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	・支援後のフィードバック時や保護者面談時などに、園や家庭等での様子について、情報共有を行っている。	
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	0	・月に1回、保護者向けの講演会を実施し、保護者同士の連携を支援できるように努めている。 ・また、講演会は通所での参加だけでなく、オンラインでの参加も募集し、新型コロナウイルス感染予防に努めている。	

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	・支援終了後に、職員間で情報共有を行い、保護者からの相談や申入れについて、早期対応できるように努めている。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	・教室内の掲示物の掲示、教室ブログの作成などを行い、支援の様子や事業所としての取り組みなどについて、利用者、保護者のみならず、外部に向けた情報も発信できるように努めている。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	・利用者の個人情報書類に関しては、ファイルで管理した上で、施錠できる書庫での保管を徹底している。 ・また、机上整理に努め、個人情報の紛失や漏洩がないように努めている。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	・担当制での支援提供を行っていないため、毎回職員間で支援内容や利用者の様子などを引き継いでいる。 ・支援後のフィードバック時や保護者面談時での様子などを職員間で情報共有し、次回以降の支援に活かせるように努めている。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	・前年度同様、新型コロナウイルス感染予防のため、事業所内行事に地域住民等を招待するのが困難なこともあったが、園や学校、他事業所訪問等を行い、地域に開かれた事業所運営に努めている。	・今後、新型コロナウイルス感染対策を考慮し、安全な形で対応できるように検討していく。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	0	・月1回、事業所で防災訓練を実施し、緊急災害時に備えている。	・毎月の防災計画を保護者の目に届く所に掲示するだけでなく、今後は、利用者や保護者が一目で見えて事業所の取り組みがわかるように、視覚掲示物を有効活用していく。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	・月1回、事業所で防災訓練を実施し、緊急災害時に備えている。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	0	・契約時に必ず聞き取り、利用者の基本情報シートに記入をし、必ず職員間で情報共有を行っている。 ・また、医師からの診断書や意見書、発達検査の結果等を必ず職員全員で情報共有している。	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	・契約時に必ず聞き取り、利用者の基本情報シートに記入をし、職員間で必ず情報共有を行っている。	・事業所では食事を提供していない。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	・ヒヤリハットがあった場合には、ヒヤリハット表に必ず記入をし、同じ内容でのヒヤリハットを起こさないように、今後の対策を職員全員で協議している。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	・事業所内や法人全体での研修を受け、対応方法を学習している。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	0	・契約時に、保護者にしっかりと説明を行い、了解を得ている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」相模大野校

保護者等数（児童数）：21 回収数：21 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	0	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	20	0	0	1	・職員の数が異動で少なくなりましたが、適切に支援を受けています。	・今後、職員の数を増やしながらか、さらに適切なサービスが提供できるように努めていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19	1	0	1		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21	0	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	20	0	0	1		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	20	0	0	1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	20	0	0	1		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	19	2	0	0		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	2	4	6	・事業所の個別支援計画の中では、今までに機会がないため、わかりません。	・新型コロナウイルス感染予防のため、保育所等と交流するのが困難なことも多くありましたが、今後、他の専門機関への訪問等を行い、地域に開かれた事業所

							運営に努めていきます。	
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	20	1	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	18	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 困りごと、日常の些細な相談ごとにも丁寧に答えてくださります。 ・ 日頃から、園や療育、家庭での様子を聞き取ってくださり、その改善をご指導くださり、ありがとうございます。ペアトレとしての時間は、特に設定されていないように感じています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援後のフィードバック時や保護者面談時などに、園や家庭等での様子について、情報共有を行い、児童の特性に合わせた有効な声がけや視覚掲示物の活用方法について、助言をしています。 ・ 月に1回、保護者向けの講演会を実施し、家族支援についての情報提供をしています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談支援や支援後のフィードバックで聞いていただいています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園や家庭等での様子について、情報共有を行い、児童の特性に合わせた有効な声がけや視覚掲示物の活用方法について、助言をしています。
⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	0	0	0			
⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	4	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者会は開かれているが、都合が合わなく、参加したことがないため、状況がわかりません。 ・ 日程が合わず、活動に参加できないこともあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月に1回、保護者向けの講演会を実施し、家族支援についての情報提供をしています。 ・ 今後、開催頻度や日時の検討を行い、一人でも多くの保護者が参加できるように、工夫をしています。 	
⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	19	1	0	1			

	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	19	1	0	1		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	19	1	0	1		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	18	2	0	1	・親子での通所であり、訓練などには一緒に参加したことがないため、わかりません。	・毎月の防災計画を保護者の目に届く所に掲示するだけでなく、今後は、利用者や保護者が一目で見て事業所の取り組みがわかるように、視覚掲示物を有効活用していきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	3	0	7	・避難場所は設定されており、説明も受けているので、安心できます。 ・説明はきちんと受けています。	・月1回、事業所で防災訓練を実施し、緊急災害時に備えています。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	19	1	1	0	・「きらり」の日は、早起きをして、楽しそうに準備をしています。毎週楽しいようです。 ・通所するのを嫌がったことは一度もありません。	・今後も、利用者一人ひとりの生活の自立に向けて、自信を持って、自分のできることを増やせるよう、支援内容の工夫を図っていきます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	19	2	0	0	・約1年半、「きらり」に通って、とても成長したと思っています。ありがとうございます。 ・今は職員の先生が少ないとのことで、支援の追加が難しく、少し困っています。	・今後も、指導法や教材作成の試行錯誤を行い、よりよいサービスを提供できるように努めていきます。 ・支援の追加や振替などで、日々ご迷惑をおかけしてしまい、申し訳ございません。今後、職員の数を増やししながら、適切なサービスが提供できるように努めていきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。